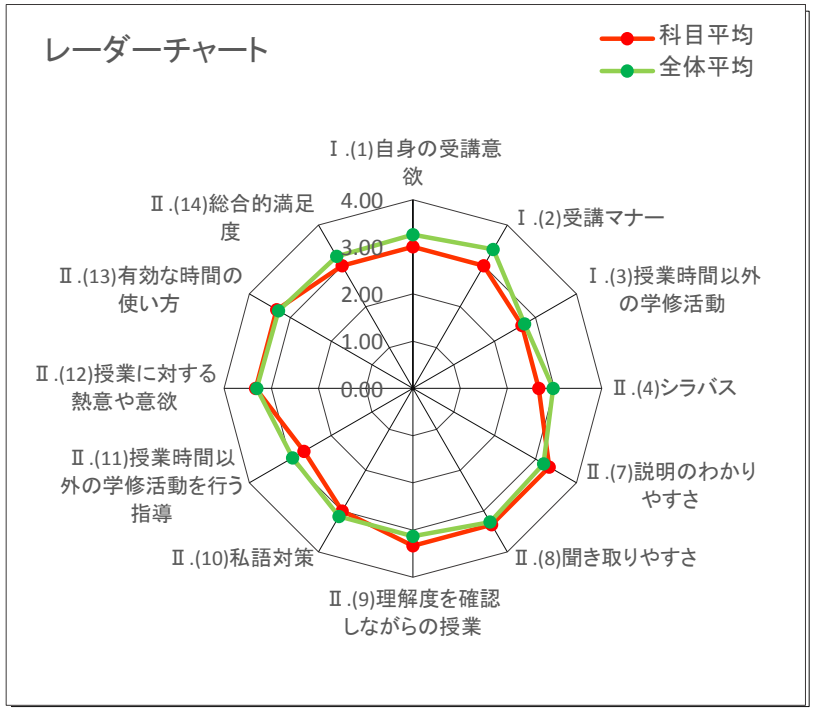
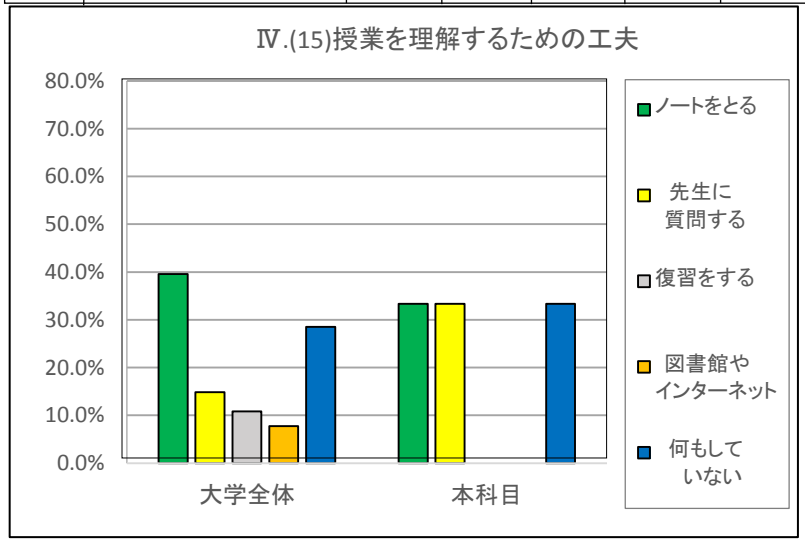
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.00	3.26
	Ⅰ.(2)	3.00	3.40
	Ⅰ.(3)	2.67	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.67	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.33	3.20
	Ⅱ.(8)	3.33	3.27
	Ⅱ.(9)	3.33	3.13
	Ⅱ.(10)	3.00	3.13
	Ⅱ.(11)	2.67	2.94
	Ⅱ.(12)	3.33	3.31
	Ⅱ.(13)	3.33	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.00	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.89	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.13	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.00	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	34301
科目名	基礎数学Ⅰ
教員名	

①授業計画の達成度について

回答者数が3名と少なく、かつ、内2名は全ての設問に「ややそう思う」と答えるなど（設問(5)「この授業は、自分にとって難易度の高い授業であった」と設問(6)「この授業は、自分にとって難易度の低い授業であった」で、偶数の4件法であるにもかかわらず同じ解答というのは論理的にあり得ないはず）、アンケートの結果にどこまで意味があるのか疑問ですが、いずれにせよ学習の到達目標及び難易度はこの科目の設置当初から定められており、合格した学生は「Ⅱ」へと進み、合格しなかった学生は少なくとも3年次前期までは再履修を繰り返すことを通じて、全ての学生が数学の基礎学力を身につけることとなっております。

②授業の進め方について

回答者のうち、全ての設問に「ややそう思う」と答えることをしなかった唯一の学生が、「この授業の先生の説明は分かりやすかった。」「この授業の先生の話し方は聞き取りやすかった。」「この授業の先生は学生の理解度を確認しながら授業を進めていた。」「この授業の先生の授業に対する熱意や意欲が感じられた。」「この授業の先生は授業時間を有効に使っているか。」に「そう思う」と答えてくれていました。また、全ての設問に「やや思う」と答えた学生の一人は、自由記述欄において「しどうをしっかりしてくれた」と記入してくれていました。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

この授業科目の目的や学習の到達目標、難易度については、授業科目の設置当初から決められたことで私の裁量が及びませんが、私の裁量が及ぶ授業の進め方に関しては、サンプル数が極めて少なく統計的な信頼性に欠けるものの、高評価とみなしてよいように思われます。

しかしながら、サンプル数が少ないこと、すなわち授業の出席者数が少ないことは、多くの受講者のこの授業の目的を浸透させられなかったことを意味するものと思われます。

アンケートの陰に隠れているそうした学生の存在に思いを馳せるならば、いかに学生にやる気を出させるかが最大の課題と認識しております。「どうせ自分はできない」と諦めている学生に対し、「時間はかかっても、やればできる」と思ってもらえるよう、個々の学生の理解度をさらにきめ細かく確認しつつ、さらに分かりやすい説明を心掛けていきます。

奈良学園大学